

J H F 理事会議事録

日 時： 2019年10月1日(火) 13:00～15:00

場 所： J H F 事務局会議室（北区中里1-1-1-301）

1. 議長・議事録作成人指名

議長： 内田孝也 議事録署名人：出席理事監事全員

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 芦川雄一郎 市川 孝 内田孝也 大沢 豊

小林秀彰 殿塚裕紀 安田英二郎

【監事】 岩村浩秀 大森健一

（出席理事7名 今理事会は定足数を満たし成立した）

3. 理事・監事の一言

大沢理事：ハング日本選手権は日程を5日間に変更をして事故もなく無事に成立しました。

安田副会長：朝日和博氏が国際航空連盟（F A I）エアスポーツメダルを授賞したので代理で表彰式に出ました。

市川理事：11月30日、12月1日に開催するスカイスポーツシンポジウム実行委員会に出席しました。今年は25周年で2日間の開催です。岡芳樹氏のアジア競技大会の報告会があります。

熱海姫の沢公園で14日にパラグライダー体験会を開催するので下見に行つて来ました。

議長（内田会長）：8月3日～4日に東日本大震災復興支援気球イベント「空を見上げて」と共催の一般財団法人日本航空協会の拡大航空スポーツ教室に東京都ハング・パラグライディング連盟がハンググライダーVR体験会で参加しました。

殿塚理事：足尾の空域制限の話が出ているので話し合いを進めています。

小林副会長：9月は上級タンDEM検定を北海道、九州を開催しました。目視ではなくビデオ判定をしているので判定には時間がかかります。北海道は12名受検で合格3名、九州は事前練習が出来たこともあり9名受検で合格6名でした。ビデオデータについてはサーバー等で保管する予定です。

5. 協議事項

協議5-1 公印取扱規程の改定について

市川理事：7月理事会で改定し運用してきましたが、実務にそぐわない部分がありましたので、下記を修正したいと思います。

第11条第1項「当該文書に係る決済書を添えて会長に提出し」→「当該文書に係る決済書を添えて会長及び公印管理責任者に提出し」

第9条 「公印管理責任者は、公印が不正に使用されないことがないように、常に堅固な容器に納め、執務時間外、勤務を要しない日及び休日にあつては、これを施錠しておかなければならない。」の部

分で「公印管理責任者」→「公印取扱責任者」へ。

第11条については、会長から法的に問題がないかを調べるよう指示があり、公益財団法人の公益法人協会に相談をしました。会長以外が確認することは法的に問題がありません。法人内部のコンプライアンスを高めるためにもそういう方向に持って行った方がよいと思うとのことです。審議事項として了解を得て制度委員会に出したいと思います。

議長（内田会長）：小林副会長が以前に軽微な規程の変更は理事会で決めたいと言っていました。

小林副会長：今回は制度委員会に回さなくても理事会で決めて委員会へ報告でよいと思う。

議長（内田会長）：最高責任者だけに集中するのはまずいのでダブルチェックにしましたが、責任者だけが確認をし最高責任者が見なくなるのはまずい。この案を成案として制度委員会に追認なのか、他の条文との整合性で問題がないか見てもらってからかは、どちらにしますか？

岩村監事：毎月理事会があるのであればよいですが、2ヶ月に1度です。制度委員会に確認してまた審議となると時間はかかる。事務手続きの話です。

芦川理事：7月に決めた規程を今回改定することになります。不具合は理事会が決めて実務を先に進めることでよいと思う。

議長（内田会長）：協議事項5-1を審議事項4-1にすることで決議します。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 芦川、市川、大沢、小林、殿塚、安田

4. 審議事項

審議事項4-1 公印取扱規程の承認について

議長（内田会長）：公印取扱規程を改定することで決議します。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 芦川、市川、大沢、小林、殿塚、安田

協議5-2 佐賀バルーンフェスタにおけるPGアキュラシーデモについて

小林副会長から佐賀バルーンフェスタについて説明があり、JHFとしてPGトーイングで参加する際の予算、人材育成も含め2020年からどう対応するか協議した。

殿塚理事：予算が掛かってもJHFとして他に宣伝効果があるものがないので参加した方がよい。

岩村監事：事業規模、予算を見てからではないとここでは決められないのでは？

小林副会長：出来るかは分かりませんが、佐賀市との交渉は初めてよいですか？

大沢理事：交渉はよいですが、具体的なこと、金額が決まってから改めて審議ですね。

議長（内田会長）：強い反対がないということで来年に向けて状況を見ていくことにしましょう。

協議5-3 SSFについて

議長（内田会長）：埼玉スカイスポーツフェスタについては、東京都連、群馬県連ではなく埼玉県連に話をし、県連理事長の経営する堂平パラグライダースクールにパラのふわり体験を請け負ってもらう事になりました。名簿の提出のため、スクールからの10名以外に私の名前を入れています。本部

のテントはどうするか。話し合ってください。

協議の結果、お金をかけないで理事が出張することにし、内田会長、安田副会長、市川理事、大沢理事4名が参加する。来年度以降については今年の状況で判断する。

協議5-4 FAI賞推薦候補について

FAIエアスポーツメダルを今年度は朝日和博氏が授賞した。今後も引き続き準備したリストから候補を出して理事会で審議をして推薦していく。

協議5-5 予算引き継ぎの件

議長（内田会長）：規程に基づき会計管理責任者を決めて会計関係はチェックしていますが、来年度予算についても会計担当のお二人が事務局で進めて欲しい。予算案は会長が作って理事会に諮る事になっているので規程、定款を見直す必要がある。

岩村監事：予算の承認は理事会なのでそれは不要です。上程するのが会長名で実際に作るのは理事会です。本来は財務担当が作って会長が承認し理事会に上程です。

芦川理事：作ったのは担当であっても最終的に理事会への提出が会長名ということです。マニュアル化をお願いします。

議長（内田会長）：具体的にハンズオンで画面を見ながら説明が必要です。

岩村監事：その先の認定関係は市川理事もやっていますし、ルールを教えてもらえばよい。理事2名と事務局長をお願いします。

殿塚理事：説明の際には、参加させてください。

6. 報告事項について 下記が報告された。

6-1 ハングトローイング事故について

議長（内田会長）：ハンググライダーのトローイング事故について、ハング教員から事故調査の結果が出ていないと意見が出ていました。安全性委員長と事故調査員と話してありますが、そのまま3か月が経ちました。

安田副会長：事実のみ事故調査報告書をまとめる必要があります。

小林副会長：安全性委員会に事故報告書をまとめてもらいましょう。

議長（内田会長）：私から連絡します。

6-2 予算実績表

議長（内田会長）：4～7月実績の4ヶ月分が出ましたが3倍するとざっくりとした決算予測になります。このペースでは基金取り崩しをすると遊休財産超過になる可能性がある。

芦川理事：会計を見ていて8月9月は上級タンデム、世界選手権費用が出ていますので、次の実績では進むと思いますので、そんなに取り崩しで余ることはないかと予測しています。

岩村監事：パラグライダー競技委員会の消耗品費は何ですか？

芦川理事：アキュラシーのパッドを買いました。

6-3 フライヤー会員登録・技能証発行実績

この議事録が事実と相違ないことを確認し記名押印する。(出席理事)
理事

芦川雄一郎 印

市川 孝 印

内田孝也 印

大沢 豊 印

小林秀彰 印

殿塚裕紀 印

安田英二郎 印

監事

岩村浩秀 印

大森健一 印

議事録作成人：桜井加代子